

ICT：ロイロノート活用における授業実践

京都府立洛北高等学校 教諭 竝川幸子

教科（科目）	技術家庭（家庭分野）
題材	おもちゃの製作と園児との交流
授業計画	1 作るおもちゃと製作手順の検討 2 製作 3 おもちゃの発表と相互評価（本時） 4 おもちゃを持参し、園児と交流
本時の目標	自分が考え作ったおもちゃの紹介を通して、遊び方や製作における工夫点等を簡潔にまとめ、はっきり伝えると共に、それを聞く生徒は自身で評価の基準を定め、公正に評価する力を身に付ける。
ロイロノート活用のポイント	製作したおもちゃをロイロノートの提出箱に提出させることにより、おもちゃの紹介（スピーチ）に併せてタブレット上でも確認することができ、公正な評価に繋げることができる。

導入

- おもちゃの製作について、紹介及び相互評価を予告していたことを確認する
- 紹介方法と評価方法について説明する


展開

- 紹介の準備
 - ・紹介（発表）内容を簡潔にまとめさせる
 - ・各自、発表の練習をさせる
- 発表及び評価
 - ・順におもちゃを持って登壇、工夫点や遊び方等について紹介させる（コメントする）
 - ・発表を聞いて評価させる
 - ・質問があれば回答させる
- おもちゃ遊びの体験
 - ・実際に遊んでおもちゃの完成度等を確認させる

まとめ

- おもちゃや発表内容について講評する
- おもちゃ及びレポートと評価表を回収する


製作→
完成した
おもちゃ




←クラスの
作品
一覧



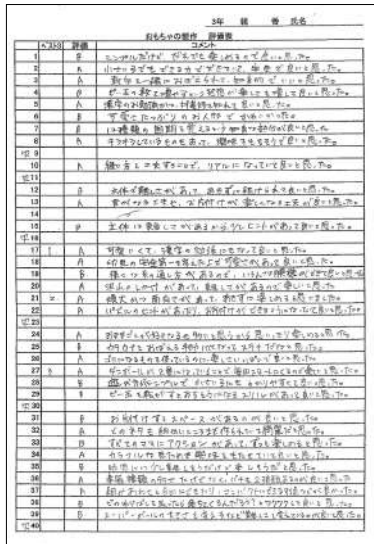
発表の様子
(よく聞き取れるよう
マイクを使用)



おもちゃの画面を拡大



評価表の完成に向けて
タブレットで再確認



評価表

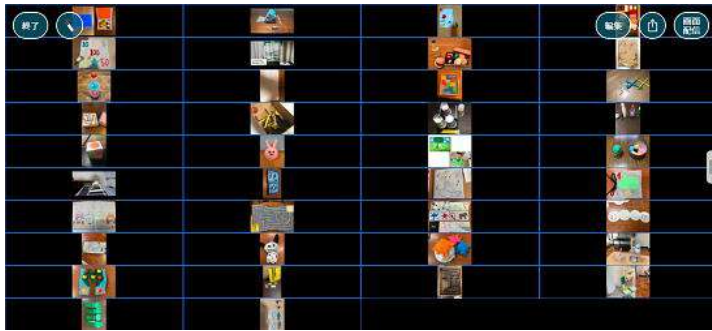
成果と課題

生徒は発表内容とおもちゃの作品を見て評価に繋げるが、タブレットで作品を確認することができる為、慌てることなく評価ができた。また、後部席は小さなおもちゃが見えづらい時もあるが、タブレットで確認することができるため、公正に評価することができた。

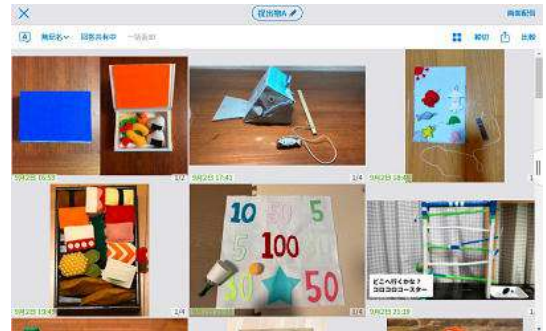
今回初めてロイロノートの提出箱への提出を試みたが、単に写真を撮るだけでなく工夫して(次ページに掲載)提出する生徒もいた。その提出の仕方と評価の絡め方が今後の課題となる。

ロイロノート提出箱への提出時における工夫

課題：「完成したおもちゃの写真を撮って9月2日23:59 までにロイロノートの提出箱へ提出すること」
 写真を1枚撮って提出すればよいが、自分で試行錯誤しながら工夫して提出した作品を一部紹介



提出された作品一覧



→ 一部拡大

提出時工夫のある作品①

絵本「ねこ子のほのぼの生活」
 右の猫のぬいぐるみは自作絵本の主人公「ねこ子ちゃん」。
 絵本は見開き15ページ。
 ページ毎の写真があり、(▶)を押せば下図のように順にページが変わっていく。(一部抜粋)



発表の様子



提出時工夫のある作品②

絵本「ふしぎのくにのアリス」を題材にしたオリジナル絵本



上記①とはやや異なり、見開き4ページずつ写真を撮って提出。(一部抜粋)



タブレットでは立体的に作ったパーツの紹介ができず残念。



実物絵本では、ケーキや果物などを取り外して口に頬張ることができるになっている。

提出時工夫のある作品③

「どこへ行くかな？ コロコロコースター」教室の後部席では見えづらい

「コースター」の行方を動画に撮り提出。(一部抜粋)

コースターの行方は、動画によってよく分かる。



コースターに見立てたビー玉がレール上を転がる

スタート地点

やや複雑ルート

リンと鳴ってゴール

製作者たちからひと言

みんなに見て貰いたいという思いから、工夫が生まれました。